

生活は  
科学であふれてる

定員  
**40**名  
申込不要

# 寒さを防ぐ、感染も防ぐ。

## 冬季における自然災害発生時の 安全な避難所づくり

本講座の内容は、後日、  
本学YouTubeチャンネルでも  
ご覧になれます！



積雪寒冷地である北海道で冬季に災害がおこった場合、避難所の防寒対策に加えて新型コロナウイルスの感染対策も必要です。

北海道科学大学 看護学科 久賀 久美子先生と建築学科 魚住 昌広先生を講師に迎え、2つの問題への対策をご紹介します。手袋・マスクなどの正しい着脱方法の体験も予定しています！

講師



保健医療学部  
看護学科  
准教授  
久賀 久美子

講師



工学部  
建築学科  
教授  
魚住 昌広

**2021.10.31** 土 14:00 紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン  
日 15:00 札幌市中央区北5条西5-7 sapporo55

主催：北海道科学大学、北海道新聞社 後援：札幌市教育委員会



お問い合わせ TEL 011-676-8664  
E-mail chiiki@hus.ac.jp

北海道科学大学 地域連携・広報課  
〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1  
TEL: 011-676-8664 FAX: 011-688-2392 HP: https://www.hus.ac.jp



生活は  
科学であふれてる




今から3年前の2018年9月6日、北海道胆振東部地震が発生し、北海道は1～2日ほどの計画停電となりました。北海道科学大学は札幌市の指定緊急避難場所兼指定避難所（基幹）に指定されており、約2日間、地域住民の避難場所として開設しました。

もしこのような災害が冬季に起こった場合を想定し、本学では、2019年、2020年に、電気、ガス、水道が使用できなくなったという設定で避難所の災害訓練を行ってきました。

今回のまちかどキャンパスは、この災害訓練を運営した+PIT※「Make a Safe area (MaSa)～冬季における防災機能をもったキャンパスの構築～」のリーダーを務める看護学科久賀久美子先生と、建築学科魚住昌広先生を講師に迎え、冬季における自然災害発生時の安全な避難所づくりについて解説します。避難所での防寒対策に加え、新型コロナウイルスの感染対策についても紹介し、手袋・マスクなどの正しい着脱方法の体験も予定しています！

※+PIT (Professional Innovation Team) とは、「北海道の発展・成長に最も貢献する大学」を目指す北海道科学大学が、学内の教職員を起点に学内外の人や企業、グループと連携し、新たなプロジェクトに取り組むチームをサポートする仕組みです。


**講師**



保健医療学部  
看護学科  
准教授  
**久賀 久美子**

冷え症や身体を温めるケアに関する研究をしており、それらを活用して避難所での防寒対策に活かしたいと考えています。新型コロナウイルス感染症の流行で防寒対策に加えて感染対策への取り組みも考えています。

**講師**



工学部  
建築学科  
教授  
**魚住 昌広**

寒冷地では、災害時の避難施設内の室内環境の維持や感染症対策が重要な課題です。もしもの時、建物が人々の安全を確保し、地域の復興・再生のために役立つためには、どのようにすればよいかを考えています。

**2021.10.31** 土 14:00 紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン  
15:00 札幌市中央区北5条西5-7 sapporo55

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い】

- \* イベントご参加のお客様には、マスクのご着用をお願いいたします。
- \* 当日、発熱・咳・全身痛などの症状があり、体調にご不安のある方は、参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。
- \* 会場内にてアルコール消毒液をご用意いたしますので、イベントご参加の前に必ずご利用下さい。
- \* 状況によっては、中止や延期となる場合もございます。ご了承ください。最新情報は本学ホームページをご確認ください。
- \* ご来場の皆様、スタッフの健康と安全を考慮してのお知らせとなります。ご協力何卒よろしくをお願いいたします。

北海道科学大学  
ホームページ

